

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名		研究環境・基盤強化経費		担当部局庁	研究振興局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度		平成23年度～		担当課室	基礎研究振興課		基礎研究振興課長 内丸 幸喜			
会計区分		一般会計		施策名	IX-2 科学技術振興のための基盤の強化					
根拠法令 (具体的な条項も記載)		-		関係する計画、通知等	第3期科学技術基本計画(平成18年3月閣議決定)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		筑波研究学園都市における集積された研究機関や大学等への情報交流室の提供や筑波研究学園都市における研究者の研究環境の状況調査、共同研究などに従事するために招へいされた外国人研究者が利用する宿泊施設を確保するなど研究環境を整備することで研究交流の促進を図る。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)		筑波研究学園都市における研究交流の促進を図るため以下の業務を行う。 ・研究交流センターの共同利用施設である国際会議場等の運営、研究交流集会等の業務 ・設備の改修、点検、警備、清掃及び会議場等の整備 等 外国人研究者宿泊施設の整備、運用に係る以下の業務を行う。 ・宿泊施設の経年劣化部分の改修業務 ・宿泊施設の清掃、施設内外の巡回等の管理業務 等								
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		予算の状況	当初予算	-	-	-	62.6	60.9		
			補正予算	-	-	-	-	-		
			繰越し等	-	-	-	-	-		
			計	-	-	-	62.6	60.9		
		執行額		-	-	-	-	-		
執行率(%)		-	-	-	-	-				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)	
		筑波研究学園都市における研究交流の促進【参考実績①:研究交流センターの共用施設の利用実績】 【参考実績②:本宿舎への新規外国人入居世帯数】		成果実績	① 利用実績				-	
					② 世帯数				-	
				達成度	%				-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
		①研究交流シンポジウム等の開催実績(画研究機関等に係る横断的な研究交流シンポジウムの開催や研究会等の支援を行う。) ②1年間の入居世帯数(1ヶ月毎にカウント)(外国人研究者宿泊施設の施設・生活環境の整備を行う。)		活動実績 (当初見込み)	① 開催実績					-
					② 世帯数					-
								()	()	
単位当たりコスト		56,456(円/回)		算出根拠		外国人宿舎の予算を除く当初予算額(55,891千円)/国際会議場等の利用予定回数(990回)(※過去3年間における実績の平均)				
平成23・24年度予算内訳	費目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	庁費		48.9百万円	47.2百万円						
	設備整備費		10百万円	10百万円						
	情報処理業務庁費		3.2百万円	3.2百万円						
	職員旅費等		0.5百万円	0.4百万円						
	計		62.6百万円	60.9百万円						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業にかかる経費は、文部科学省において直接執行しており、会計規則に基づき適切な処理に努めている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>本事業は、平成21年度行政事業レビューの指摘を踏まえたものとなっており、執行面における課題もなく、事業の成果目標もたてられていることから、適切な事業と認められる。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>本事業は、前年度まで「筑波研究学園都市研究交流センター」と「招へい外国人研究者用宿舎の整備」という別々の事業であったが、それぞれ20年以上続く長期事業であったことから、「筑波研究学園都市研究交流センター」と「招へい外国人研究者用宿舎の整備」の二つの事業を発展的に統合し、予算執行の効率化を図ったところである。</p>			

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

文部科学省
62.6百万円

庁費	49百万円	} を含む。
職員旅費	0.4百万円	
情報処理業務庁費	3.2百万円	
設備整備費	10百万円	

〔共同利用施設及び外国人研究者宿泊施設の管理・運営等業務や施設の修繕を行っている。〕



【一般競争入札・請負】

A. 管理運営業務等：10.7百万円
民間企業（全3機関）

〔国との委託契約に基づき、施設の清掃・管理業務、植栽管理業務及び警備保安業務等の運営業務等を行っている。〕

※100万円未満の契約については、記載を省略している。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：百万円）

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A. 民間企業			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務費	施設警備保安業務	2.2			
	施設機械設備等保安全管理業務等	3.0			
計		5.2	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0